

## 日本ブータン外交関係樹立 30 周年クロージング・レセプション 平松大使挨拶（仮訳）

天皇陛下の 83 歳のお誕生日であるこの良き日に、ブータンを訪問し、ダムチョ・ドルジ外務大臣を主賓にお迎えして、本年の外交関係樹立 30 周年記念の一連の行事を締めくくるクロージング・レセプションを開催できたことは私にとって大きな喜びです。

本年 1 年間の間に、日本とブータンにおいて様々な記念の行事が行われ、日本・ブータン間の交流や友好関係が一層深まりました。

この 1 年の間に、様々なイベントや展示が、両国において行われました。例えば、5-7 月には、ツェリン・ヤンドン第 4 代国王妃が開会にご出席された日本での「ブータン展」（「ブータン～しあわせに生きるためのヒント～」）、6 月には、「ブータン花の博覧会」へ日本からの盆栽師の参加と福島県三春町の庭園の展示、6-8 月には、ブータン政府観光局による日本人観光客に対する親善オファー、また、9 月には、ブータンでの「日本週間」が行われました。

この 1 年間の交流は、これまでの、王室と皇室との交流、農業分野での協力などの日本ブータンの友好関係に新たな 1 ページを加えるものと考えます。

特に、6-8 月の親善オファーの間に、日本からの旅行者数が 5 倍以上となり大きな成果を上げました。

また、先ほど、「日本ブータン友好 30 周年卓球キャンプ」の親善試合を観戦しました。日本から 7 名の卓球指導者及び選手が参加しました。また、ブータン卓球連盟に、日本の卓球愛好者の皆さんからユニフォーム 100 着、ラバー 115 枚、ラケット 20 本、ボール 230 個などが寄贈される贈呈式に立ち会いました。卓球を通じた両国の交流が、今後益々盛んになることを期待します。

本日午前中、草の根無償資金協力によるパトカーのティンプー警察への引渡し式に出席しました。新しいパトカーが、コミュニティ・パトロール能力の向上に貢献することを期待します。

日本は、ブータンが重視する農業機械化のための支援として、本年無償資金協力による 353 台の耕耘機の供与に合意しました。更に、先週（16 日）、国道 4 号線の 4 つの橋梁を掛け替える無償資金協力の E/N に署名しました。

日本は、引き続きブータンの経済発展に日本は協力していくが、ODA のみならず、今後は、貿易や投資の面でも協力を深めてまいりたい。今回の訪問には、ブータンに関心のある双日インド社及び三井住友銀行の方にも同行して頂いています。

日本とブータンとの間の友好協力関係の増進に尽力されている全ての先達に改めて感謝するとともに、本年の 30 周年を機運として、来年以降も、様々なレベルでの交流が一層活発化することを期待します。